

研修のねらい

- 問題解決の手法を理解することで、問題解決に自信がつかます。
- 自ら問題を発見し、それを解決する自発的な職員を育成します。
- 政策形成や職場改善にも役立つアイデアが浮かぶようになります。

改革の時代を迎えて、政策形成や事業創造のための問題発見力、問題解決力、アイデア発想力がますます重要視されます。問題解決力や発想力は、今や自治体職員が身に付けるべき基本的、必須な能力です。

人間は本来、誰でも問題解決力や発想力を持っています。しかし、固定観念や前例踏襲型の組織文化などの阻害要因に阻まれて、自己の問題解決力や発想力を発揮させることができないでいます。

この研修では、自らの固定観念などに気付きながら、問題解決の基本知識や問題解決の手法を学ぶとともに、改善事例から実践的な問題解決力、発想力を身に付けます。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

	1日目	2日目
午前	1. 今、求められる発想力、創造力 (1) 発想力、創造力が要求される問題とは (2) 環境変化と発想力、創造力の意義 2. 発想力、創造力を高める (1) 自己の発想力、創造力チェック (2) 発想力、創造力の阻害要因 (3) 発想力、創造力の促進要因 ◇ 自己チェック・演習 ◇	5. 問題発見・課題形成力を高める (1) 情報収集と情報の使い方 (2) 仮説設定の仕方 (3) 希望点列挙と問題提起 ◇ グループ演習 ◇ 6. 問題解決力を高める ◇ 演習・グループワーク ◇
午後	3. 問題解決の基本スタンス (1) 拡散思考と収束思考の分解 (2) 質から量 (3) ゼロベース思考 (4) 仮説思考 ◇ グループ演習 ◇ 4. アイデア発想と問題解決技法 (1) BS法・BW法・焦点法・NM法 (2) アイデアの収束と評価法	7. 総合演習 「現状からの課題形成と問題解決」 ・個人研究 ・グループ研究 ・発表 ・相互評価 ・コメント 8. まとめ 「自己革新プラン設定・今後の行動指針」